

HVXT03 取扱説明書

この度はデジタルインプットインターフェースHVXT03をお買い上げいただき、ありがとうございます。
取付ける前にこの取扱説明書をよく読んで正しくお使いください。

■本機的主要な特徴

- ・純正モニターにHDMIでスマートフォン、Amazon Fire TV Stickなどの映像を入力できます。
- ・純正スイッチを使って3種類の表示モードが切り替えられます。(Full, Broad, Normal)
- ・音声は車両スピーカーから出力されます。
- ・HDMIの入力にiPhoneなどを接続すればYouTubeなどを映すことができます。
- ・映像に対して音声の遅延がありません。
- ・純正ナビなどの機能はそのまま使用できます。
- ・独自の制御方法により、純正機器との切替えがシームレスに行えます。

■注意事項

- ・ディスプレイオーディオ(9インチディスプレイ)装備車には適合しません。
- ・HDMIケーブルは付属しません。
- ・本機のUSB端子は給電用です。通信やUSBメモリなどの再生はできません。
- ・電源投入時やHDMIケーブル挿抜時などポップ音(ボツ音)がする場合がありますが、故障ではありません。
- ・ステアリングスイッチで接続機器の操作はできません。
- ・情報画面(交通情報やETC料金案内等)が表示されてから外部入力映像に復帰するとき、黒画面が数秒間表示されることがあります。
※外部入力映像の視聴中に発生することがあります。
- ・iPhoneなどを接続した場合、アプリによって別途通信パケットを消費することがあります。
- ・後座モニターに映像を映すためにはHDMI分配器「IF33A」(別売)が必要です。
- ・適合年式はモデルチェンジ等で変わることがあります。最新の情報は弊社ホームページをご確認ください。
- ・掲載されている商標・ロゴ・商号等に関する権利は、弊社又は個々の権利所有者に帰属します。詳しくは弊社ホームページをご参照ください。

■仕様

寸法:W100×H23×D109(mm) 質量:170g(本体のみ)
USB端子:5V/2.4A(急速充電対応) HDMI端子:タイプA

■同梱品

HVX本体、車両接続用ハーネス、GVIFケーブル(2種類)、ボジタツプ、両面テープ、ウレタンシート、
HDMI延長ケーブル(オス-メス 2m)、USB延長ケーブル(オス-メス 2m)、取扱説明書(保証書)

■お取付け上の注意事項

- ※運転操作や車体の可動部分を妨げないように取付けること。
- ※パイプ類、タンク、電気配線などを傷つけないこと。
- ※水のかかる所、湿気、ほごりの多いところに取付けないこと。

- ※この製品の不当な取扱による不具合または不当な取付けによって生じた損害につきましては、当社はその責任を負いかねますので、ご装着の際はあらかじめご了解ください。

⚠ 取付作業を行う前のご注意

- ※車体の板金部近くを通るコードには、保護テープを巻いてください。
- ※取付後、ブレーキランプ、ヘッドライト、ウインカー、ワイパーが正常に動作することを確認してください。

- ※作業を行う前に必ず、純正デッキの動作確認を行ってから取付作業を開始してください。
(純正デッキが正常に動作しない場合は、本機を取付けても正常に動作しません。)

製品についてのお問い合わせ窓口



▶ WEBお問い合わせフォーム [24時間受付]
<http://contact.beatsonic.co.jp/>

適合車種	車両型式	適合年式	純正装備
MIRAI	JPD20	R2/12-	T-Connectナビ+ JBLプレミアムサウンド T-Connectナビ+ 10スピーカー
クラウン 220系	ARS220/AZSH20/ AZSH21/GSW224	R2/11-	T-Connectナビ+プレミアムサウンド T-Connectナビ+スーパーライブサウンド T-Connectナビ+ライブサウンド
ランドクルーザー ※1	FJA300W/VJA300W	R3/08-	T-Connectナビ+ JBLプレミアムサウンド T-Connectナビ+ 10スピーカー

※1.ディスプレイオーディオ(9インチ)には対応しません。

① 各部の名称

■HVX本体



①HDMI入力

HDMI出力のある機器を接続します。ここに接続した機器の映像を見ることができます。

②インジケータ

本機の状態を示します。通常動作時は緑に点灯します。

③給電用USB端子

接続機器に電源を供給します。機器自動判定で2.4Aまでの急速充電に対応します。通信は行えませんがUSBメモリなどを接続しても音楽や動画の再生はできません。

④ハーネス接続カプラー

同梱の車両接続用ハーネスを接続します。

⑤GVIF入力カプラー

同梱のケーブルを使用して車両側カプラーに接続します。ラベルと同じ色のカプラーを接続します。

⑥GVIF出力カプラー

同梱のケーブルを使用してモニター側カプラーに接続します。ラベルと同じ色のカプラーを接続します。

■車両接続用ハーネス

車両側カプラー、純正モニター、純正デッキとHVX本体を接続します。



■GVIFケーブル(2本)

車両側カプラー、純正モニター、HVX本体を接続します。



■HDMI延長ケーブル(オス-メス 2m)

■USB延長ケーブル(オス-メス 2m)

操作パネル部分▷



HDMI入力映像に切替える方法



①デッキまたはモニター下部分の「AUDIO」ボタンを押し、オーディオソース選択画面で「AUX」を選択します。HVXT03で入力した映像が表示され、車両スピーカーから入力音声が鳴ることをお確かめください。
※HVXT03のHDMI入力に機器が接続されていないときは青画面が表示されます。

②MAPやPHONEなどの画面からHVXT03で入力した映像に戻るときはデッキまたはモニター下部分の「HOME」ボタンを押します。
※この操作はオーディオソースが「AUX」を選択されているときのみ有効です。

情報画面(交通情報やETC料金案内等)が表示されてから外部入力映像に復帰するとき、黒画面が数秒間表示されることがあります。 ※外部入力映像の視聴中に発生することがあります。

表示モードについて

HDMI入力の表示モードを変更することができます。選択できる表示モードは以下の3種類です。

Normal	画面中心に縦横比16:9で表示
Broad	NormalとFullの中間の縦横比20:9で表示
Full	画面全体に縦横比24:9で表示

【切替方法】

「TUNE TRACK」の左側のボタンを押して切替えます。



Normal → Broad → Full の順で切替わります。

※この操作は、オーディオソースの「AUX」が選択され、入力映像が表示されているときのみ有効です。
HVXT03のHDMI入力に外部機器が接続されていないときは、表示モードを変更することができません。
※この操作で変更する表示モードは、純正の画面モードの設定とは異なります。
※他のオーディオソースの表示モードを変更することはできません。

ステアリングスイッチについて

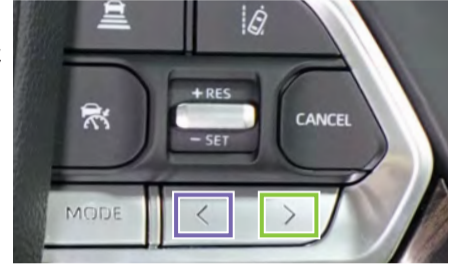
ステアリングスイッチで切替操作ができます。

【表示モード切替え】

ステアリングスイッチの「TUNE・TRACK」スイッチの「<」ボタンを押すと、表示モードの変更ができます。デッキ部分の「TUNE TRACK」の左側のボタンと動作は同じです。

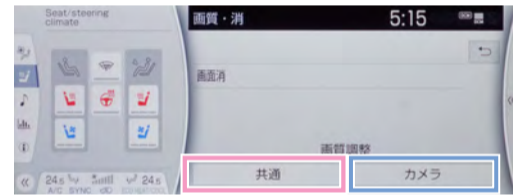
【HOME画面 ↔ AUX画面 切替え】

「TUNE・TRACK」スイッチの「>」ボタンを押すと、HOME画面とAUX画面(HDMI入力画面)が交互に切替わります。デッキまたはモニター下部分の「HOME」ボタンと動作は同じです。



画質調整方法

メニュー画面の「画質・消」ボタンをタッチします。画質調整モードで画面内の「共通」を選択すると、HVXT03で入力した映像の画質を調整することができます。 ※「カメラ」ではHVXT03で入力した映像の画質を調整することはできません。



後席ディスプレイ付車について

後席ディスプレイでHVXT03で入力した映像に切替える方法

※13.3インチリヤシートエンターテインメントシステム装着車

※後席ディスプレイでHVXT03で入力した映像を視聴するには、あらかじめHDMI分配器の接続が必要です。接続方法の詳細は、「②各配線及び機器との接続例」の【接続例3:純正後席ディスプレイにも映像を映す場合】をご参照ください。

1.後席ディスプレイのソースを「Rear-HDMI」に切替える

①後席ディスプレイの電源ボタンを押し、リアモニターを電源をONにする。

②後席ディスプレイの「SOURCE」ボタンを押し、「Rear-HDMI」を選択する。

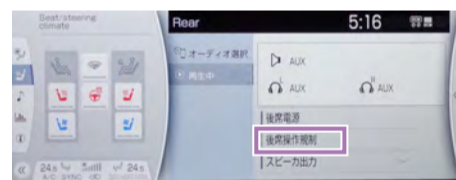


③フロント操作パネルの「AUDIO」ボタンを押し、オーディオソース選択画面で「Rear」を選択する。

④MAPやPHONEなどの画面からHVXT03で入力した映像に戻るときは、フロント操作パネル部分の「HOME」ボタンを押します。

※この操作はオーディオソースが「Rear」もしくは「AUX」が選択されているときのみ有効です。
※前席マルチディスプレイで「Rear」が選択されている時、フロント操作パネルの「TUNE/TRACK」の右側スイッチを押すことで後席ディスプレイのソースを「Rear-HDMI」にすることができます。

前席マルチディスプレイと後席ディスプレイで別々のソースを楽しむには



①前席マルチディスプレイの設定画面にて「後席操作規制」がオンになっている場合はオフにします。

②後席ディスプレイの「音声出力切替」を選択し、音声出力モードを「独立」にします。

<Tips> 音声出力切替

前後のオーディオソースの連動をON/OFFすることができます。ソースの種類によっては前席・後席独立選択が出来ない場合があります。(前席・後席連動に戻す場合は、音声出力モード「連動」にします。)



Beat-Sonic® ランドクルーザー300への取付方法

A 車両パーツの取外し



純正デッキ/モニターの取外し方法は左記QRコードから確認してください。

URL: http://www.beatsonic.co.jp/qr/?page=hvxt03_t

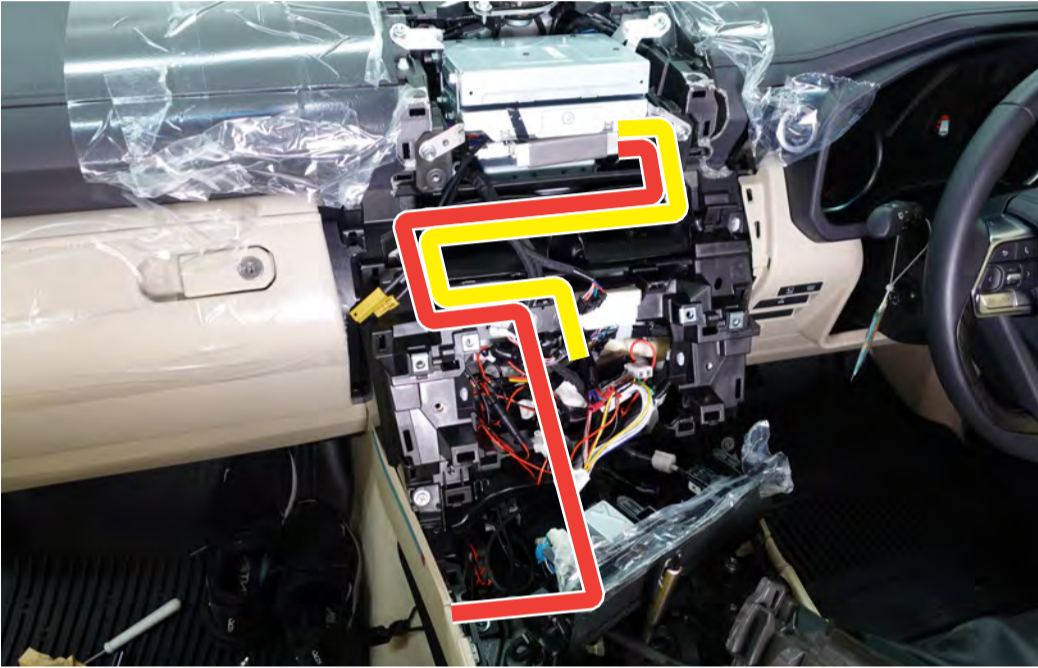
B HVXの取付け

1. 通線

純正パネルの取外し方法は、「A 車両パーツの取外し」をご覧ください。
HDMIケーブルとUSBケーブルは任意の場所に配線を通線します。
外部入力機器の設置位置に合わせて、通線する位置を決めてください。
配線については「②各配線及び機器との接続例」をご覧ください。

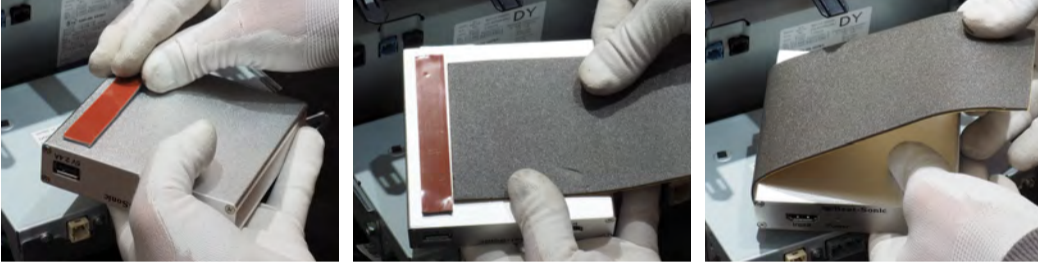
<ケーブルの通線位置例>

製品付属の「HDMI延長ケーブル」と「USB延長ケーブル」をモニター裏からセンターコンソール助手席側に通線します。車両接続用ハーネスの「ケーブルA」と「車速信号線(青色)」を「配線図」のようにモニター裏からラジオレシーバASSY裏に通線します。



4. HVX本体の養生

付属の両面テープをHVX本体裏側に貼り付けます。(本体の固定位置に合わせて貼付け位置を調整します。)
付属のウレタンシートを両面テープを目安にして貼り付けます。(写真中央参照)
本体ケースの周りを1周巻きます。(写真右参照、ウレタンシートの余りはカットします。)

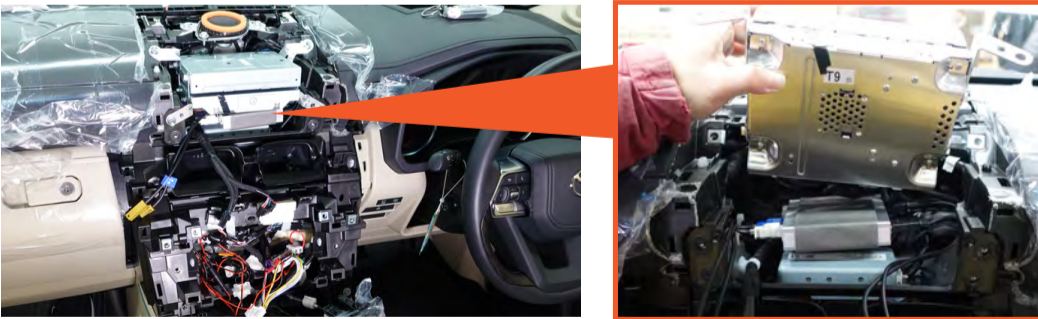


5. HVX本体の設置

HVX本体の設置位置は任意です。
純正機器の可動部や配線に強いテンションがかかる設置位置を避け適宜養生をして設置してください。

<HVX本体設置位置の推奨>

モニター裏のユニットの下にHVX本体を設置します。

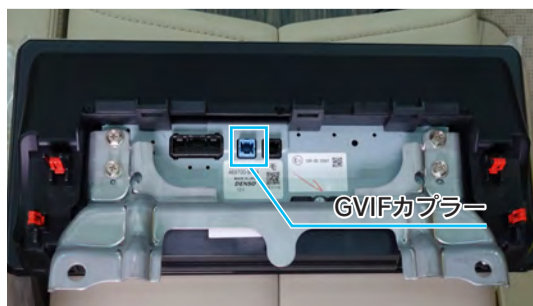


6. GVIFケーブルの接続

・付属のGVIFケーブル2本を、車両側GVIFケーブルの間に割り込ませるように接続します。
(別紙「配線図」、右図、下左図参照)
モニター裏の青ケーブルとHVX本体(Output)、車両側ケーブルとHVX本体(Input)を接続します。

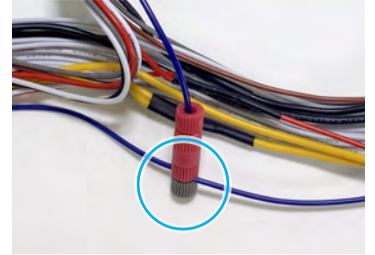
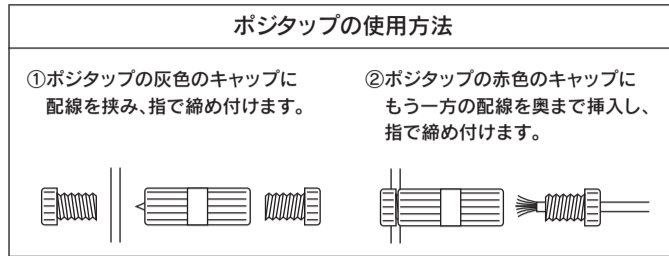
※GVIFケーブルはケーブルに貼られているラベルの指示に従って取付けを行ってください。
※黒色GVIFケーブルはHVXの取付けに使用しません。純正のケーブルを接続してください。

・付属のHDMI延長ケーブルとUSB延長ケーブルをHVX本体に接続します。
・HVXの取付けに関連のない純正のケーブルを、全て元に戻します。



2. 車速信号線の接続

車両接続用ハーネスの車速信号線(青線)を、ケーブルAの青線に製品付属のポジタップを使用して接続します。



3. ケーブルAの接続

ラジオレシーバASSYの28ピンケーブルを抜き、付属の車両接続用ハーネス(ケーブルA)を間に割り込ませるように取付けます。(別紙「配線図」参照)



ラジオレシーバASSY裏側



ケーブルAを接続するケーブル

ケーブルAを接続するラジオレシーバASSY



付属の車両接続用ハーネスの28ピンを取付け、他のケーブルは全て元に戻します。

接続するケーブルに注意してください!

ケーブルAのケーブルは、3つ並んだケーブルのどれでも接続できてしまいます。
間違えて接続するとナビの動作不良、故障の原因となります。接続するケーブルには十分ご注意ください。

7. 純正パネルを戻す

純正モニターを取付けし、取外しと逆の手順で純正パネルを取付けます。

8. 動作確認

1. 確認をスムーズに行うため、後席ディスプレイがある場合のみ、後席ディスプレイ上で「音声出力切替」を選択し、「連動」にしておいてください。
2. 前席マルチディスプレイを地図画面にしてモニター上に地図が出ることを確認してください。
→地図画面が出ないときはHVX本体～モニター間のGVIFケーブルが奥までしっかりと接続されているか確認してください。
3. 後席ディスプレイがない場合、前席マルチディスプレイのソースを「AUX」にして前席マルチディスプレイに入力した映像、スピーカーからは入力した音が出ていることを確認してください
→青画面が表示される場合はHDMI端子の接続をご確認ください。音が出ない場合は車両接続用ハーネスの接続や端子の状態をご確認ください。
4. 後席ディスプレイがある場合、ソースを「Rear-HDMI」にし、前席マルチディスプレイのソースを「Rear」にして、前席/後席どちらも入力した映像が表示されることをご確認ください。
→青画面が表示される場合はHDMI端子の接続をご確認ください。音が出ない場合は車両接続用ハーネスの接続や端子の状態をご確認ください。
→後席の映像が出ないときはHDMI分配器の接続をご確認ください。

A 車両パーツの取外し



純正デッキ/モニターの取外し方法は左記QRコードから確認してください。

URL: http://www.beatsonic.co.jp/qr/?page=hvxt03_t2

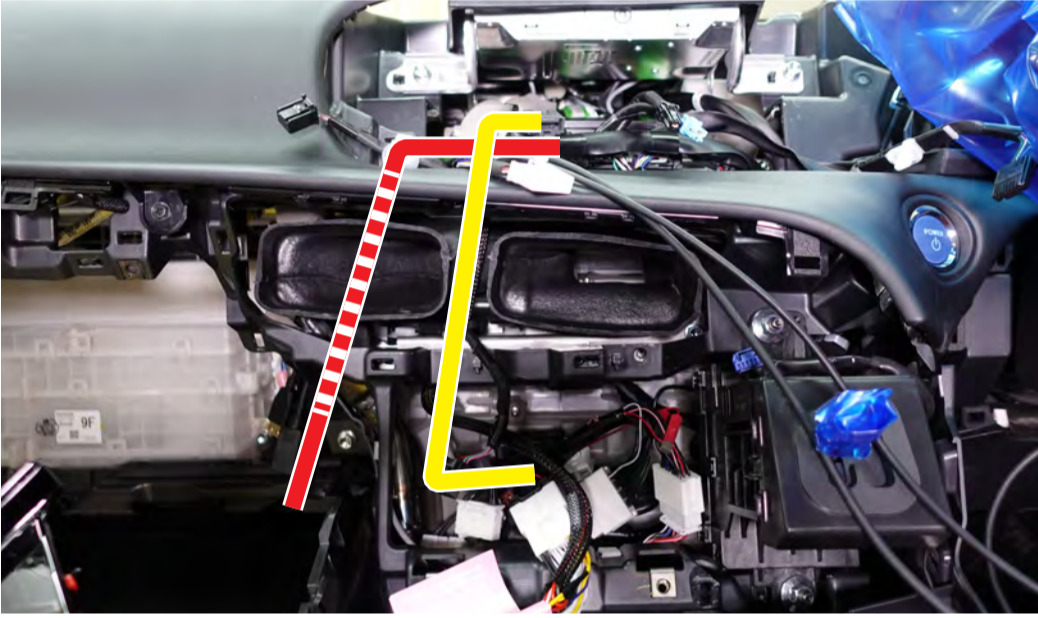
B HVXの取付け

1. 通線

純正パネルの取外し方法は、「A 車両パーツの取外し」をご覧ください。
HDMIケーブルとUSBケーブルは任意の場所に配線を通線します。
外部入力機器の設置位置に合わせて、通線する位置を決めてください。
配線については「②各配線及び機器との接続例」をご覧ください。

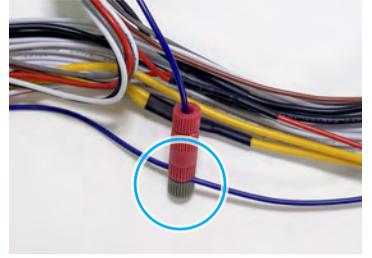
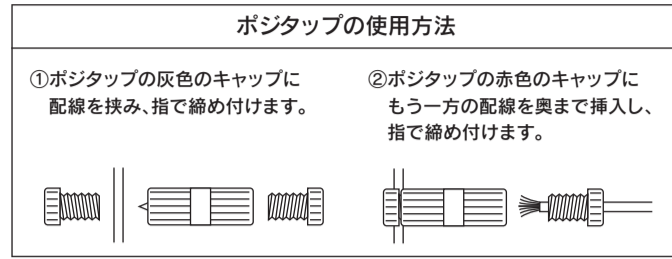
＜ケーブルの通線位置例＞

製品付属の「HDMI延長ケーブル」と「USB延長ケーブル」はモニター裏からグローブボックス裏に通線します。
※ケーブルの先端はグローブボックス内に出してください。
車両接続用ハーネスの「ケーブルA」と「車速信号線(青色)」を「配線図」のようにモニター裏からラジオレシーバASSY裏に通線します。



2. 車速信号線の接続

車両接続用ハーネスの車速信号線(青線)を、ケーブルAの青線に製品付属のポジタップを使用して接続します。



3. ケーブルAの接続

ラジオレシーバASSYの28ピンコネクターを抜き、付属の車両接続用ハーネス(ケーブルA)を間に割り込ませるように取付けます。(別紙「配線図」参照)



ラジオレシーバASSY裏側



ケーブルAを接続するコネクター

ケーブルAを接続するラジオレシーバASSY



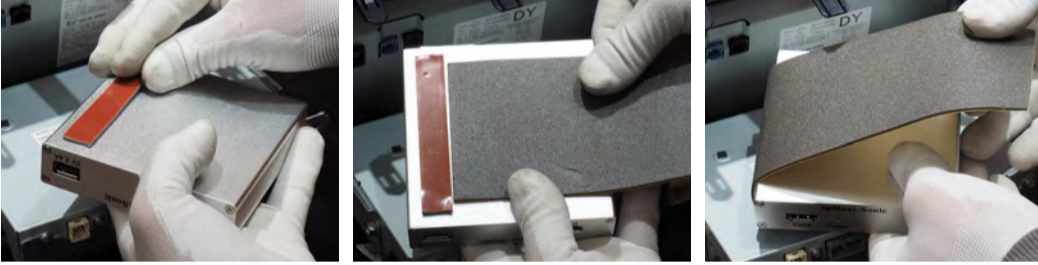
付属の車両接続用ハーネスの28ピンを取付け、他のコネクターは全て元に戻します。

接続するコネクターに注意してください!

ケーブルAのコネクターは、3つ並んだコネクターのどれでも接続できてしまいます。
間違えて接続するとナビの動作不良、故障の原因となります。接続するコネクターには十分ご注意ください。

4. HVX本体の養生

付属の両面テープをHVX本体裏側に貼り付けます。(本体の固定位置に合わせて貼付け位置を調整します。)
付属のウレタンシートを両面テープを目安にして貼り付けます。(写真中央参照)
本体ケースの周りを1周巻きます。(写真右参照、ウレタンシートの余りはカットします。)



5. HVX本体の設置

HVX本体の設置位置は任意です。
純正機器の可動部や配線に強いテンションがかかる設置位置を避け適宜養生をして設置してください。

＜HVX本体設置位置の推奨＞

モニター裏のユニットの上にHVX本体を設置します。



6. GVIFケーブルの接続

付属のGVIFケーブル2本を、車両側GVIFケーブルの間に割り込ませるように接続します。
(別紙「配線図」、右図、下左図参照)
モニター裏の青コネクターとHVX本体(Output)、車両側コネクターとHVX本体(Input)を接続します。

※GVIFコネクターはケーブルに貼られているラベルの指示に従って取付けを行ってください。
※黒色GVIFコネクターはHVXの取付けに使用しません。純正のコネクターを接続してください。



・付属のHDMI延長ケーブルとUSB延長ケーブルをHVX本体に接続します。
・HVXの取付けに関連のない純正のコネクターを、全て元に戻します。

7. 純正パネルを戻す

純正モニターを取付けし、取外しと逆の手順で純正パネルを取付けます。

8. 動作確認

- マルチディスプレイを地図画面にしてモニター上に地図が出ることを確認してください。
→地図画面が出ないときはHVX本体～モニター間のGVIFケーブルが奥までしっかりと接続されているか確認してください。
- マルチディスプレイのソースを「AUX」にしてマルチディスプレイに入力した映像、スピーカーからは入力した音が出ていることを確認してください
→青画面が表示される場合はHDMI端子の接続をご確認ください。音が出ない場合は車両接続用ハーネスの接続や端子の状態をご確認ください。

Beat-Sonic® クラウン220系への取付方法

A 車両パーツの取外し



純正デッキ/モニターの取外し方法は左記QRコードから確認してください。

URL: http://www.beatsonic.co.jp/qr/?page=hvxt03_t3

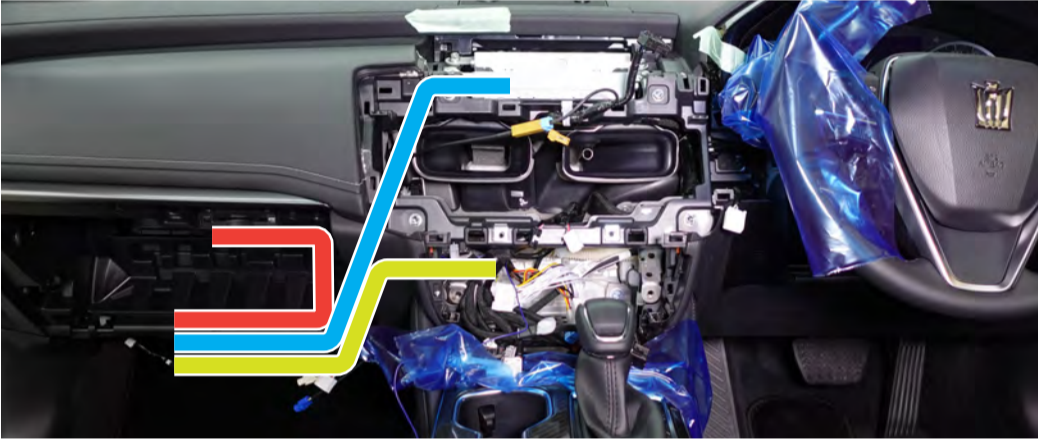
B HVXの取付け

1. 通線

純正パネルの取外し方法は、「A 車両パーツの取外し」をご覧ください。
HDMIケーブルとUSBケーブルは任意の場所に配線を通線します。
外部入力機器の設置位置に合わせて、通線する位置を決めてください。
配線については「②各配線及び機器との接続例」をご覧ください。

<ケーブルの通線位置例>

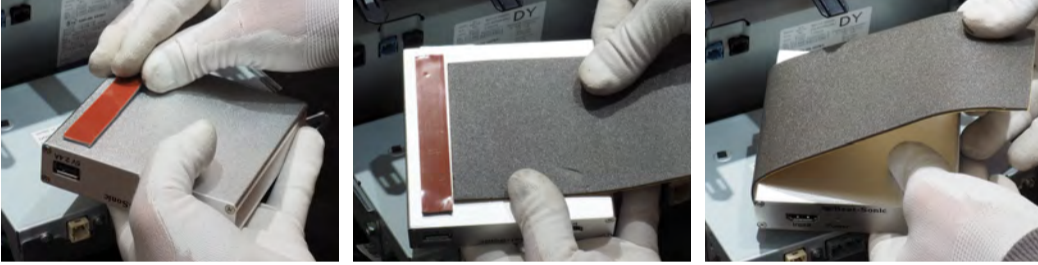
グローブボックス内に配線を出すために、製品付属の「HDMI延長ケーブル」と「USB延長ケーブル」は**グローブボックス下のアンダーカバーSUB-ASSY裏からグローブボックス裏**に通線します。
※ケーブルの先端はグローブボックス内に出してください。(グローブボックスの加工が必要です)
車両接続用ハーネスの「ケーブルA」と「車速信号線(青色)」を「■配線図」のように**グローブボックス下のアンダーカバーSUB-ASSY裏からラジオレシーバASSY裏**に通線します。
「GVIFケーブル」を「■配線図」のように**グローブボックス下のアンダーカバーSUB-ASSY裏からモニター裏**に通線します。



※グローブボックス内に配線を出すために、HDMI延長ケーブルとUSB延長ケーブルをグローブボックス下のアンダーカバーSUB-ASSY裏からグローブボックス裏に通線する場合、ケーブルを通すためグローブボックスパネル内のパネルカバーに切加工をしてください。
参照: A 車両パーツの取外し「純正デッキ/モニター取外し手順」右下

4. HVX本体の養生

付属の両面テープをHVX本体裏側に貼り付けます。(本体の固定位置に合わせて貼付け位置を調整します)
付属のウレタンシートを両面テープを目安にして貼り付けます。(写真中央参照)
本体ケースの周りを1周巻きます。(写真右参照、ウレタンシートの余りはカットします。)



5. HVX本体の設置

HVX本体の設置位置は任意です。
純正機器の可動部や配線に強いテンションがかかる設置位置を避け適宜養生をして設置してください。

<HVX本体設置位置の推奨>

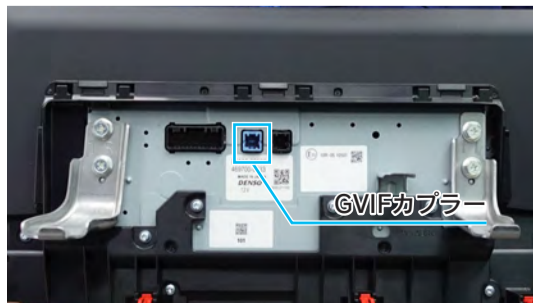
グローブボックス下のアンダーカバーSUB-ASSY裏にHVX本体を設置します。



6. GVIFケーブルの接続

・付属のGVIFケーブル2本を、車両側GVIFケーブルの間に割り込ませるように接続します。
(別紙「■配線図」、右図、下左図参照)
モニター裏の青カプラーとHVX本体(Output)、車両側カプラーとHVX本体(Input)を接続します。

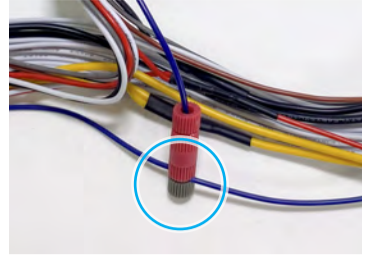
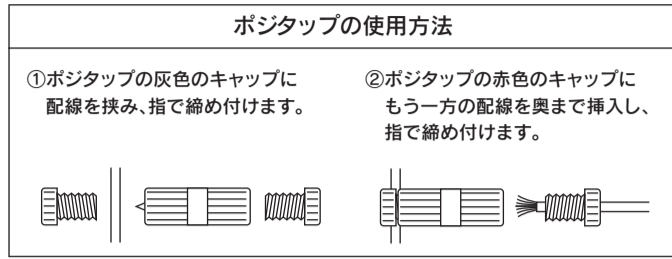
※GVIFカプラーはケーブルに貼られているラベルの指示に従って取付けを行ってください。
※黒色GVIFカプラーはHVXの取付けに使用しません。純正のカプラーを接続してください。



・付属のHDMI延長ケーブルとUSB延長ケーブルをHVX本体に接続します。
・HVXの取付けに関連のない純正のカプラーを、全て元に戻します。

2. 車速信号線の接続

車両接続用ハーネスの車速信号線(青線)を、ケーブルAの青線に製品付属のポジタップを使用して接続します。

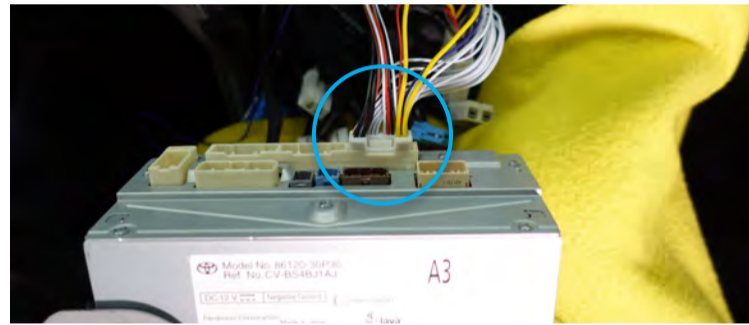


3. ケーブルAの接続

ラジオレシーバASSYの28ピンカプラーを抜き、付属の車両接続用ハーネス(ケーブルA)を間に割り込ませるように取付けます。(別紙「■配線図」参照)



ケーブルAを接続するラジオレシーバASSY



付属の車両接続用ハーネスの28ピンを取付け、他のカプラーは全て元に戻します。

接続するカプラーに注意してください!

ケーブルAのカプラーは、3つ並んだカプラーのどれでも接続ができてしまいます。
間違えて接続するとナビの動作不良、故障の原因となります。接続するカプラーには十分ご注意ください。

7. 純正パネルを戻す

純正モニターを取付けし、取外しと逆の手順で純正パネルを取付けます。

8. 動作確認

1. マルチディスプレイを地図画面にしてモニター上に地図が出ることを確認してください。
→地図画面が出ないときはHVX本体~モニター間のGVIFケーブルが奥までしっかりと接続されているか確認してください。
3. マルチディスプレイのソースを「AUX」にしてマルチディスプレイに入力した映像、スピーカーからは入力した音が出ていることを確認してください
→青画面が表示される場合はHDMI端子の接続をご確認ください。音が出ない場合は車両接続用ハーネスの接続や端子の状態をご確認ください。